

このたびはルイガノ製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

⚠ 警告

- 取り付けが不適切な場合、車体や部品の破損、転倒などの重大な事故につながるおそれがあります。作業方法に不明な点がある場合は、適切な設備・技能および専門知識を有する販売店に作業をご依頼ください。
- 補助輪の左右両側を同時に地面へ接地させないように取り付けしてください。カーブ走行時に転倒しやすくなるほか、路面の凹凸によって後輪が浮き上がることでブレーキが利かなくなるおそれがあり、大変危険です。
- ハブナットは規定トルク (30~40Nm) で確実に締め付けてください。また、部品の取り付け手順や位置を誤ると、走行中にネジが緩んだり補助輪が脱落したりして、重大な事故につながるおそれがあります。
- 急な坂道、段差の多い場所、悪路では使用しないでください。補助輪が障害物に引っかかり、転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

- 乗車前には必ず保護者の方が、ネジ類にゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、メガネレンチまたはソケットレンチ (15mm) で締め付けてください。再度ゆるみが発生する場合は、販売店にご相談ください。
- 取り付けまたは取り外しの際は、車輪のスポークやチェーンなどの間に指を挟まないよう十分注意してください。また、作業は手袋などを着用し、平坦で安定した場所で行ってください。
- サイズの合わない工具 (スパナやモンキーレンチの不適切な使用など) は、ネジ頭を損傷する原因となります。必ず適切なサイズのメガネレンチまたはソケットレンチ (15 mm) および六角レンチ (6 mm) を使用してください。
- 本製品は16インチまたは18インチの指定車種専用部品です。指定サイズ以外の自転車への取り付けや、大人の乗車などによる過度な荷重は、破損や事故の原因となりますので行わないでください。

内容品

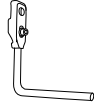
取付前に以下内容物が含まれているかご確認ください。



①ホイール
×2個



②ホイールカバー
×2個



③補助輪アーム
(ボルト固定済) ×2本



④金属ワッシャー
×2枚



⑤樹脂ワッシャー (厚)
×4枚



⑥樹脂ワッシャー (薄)
×2枚

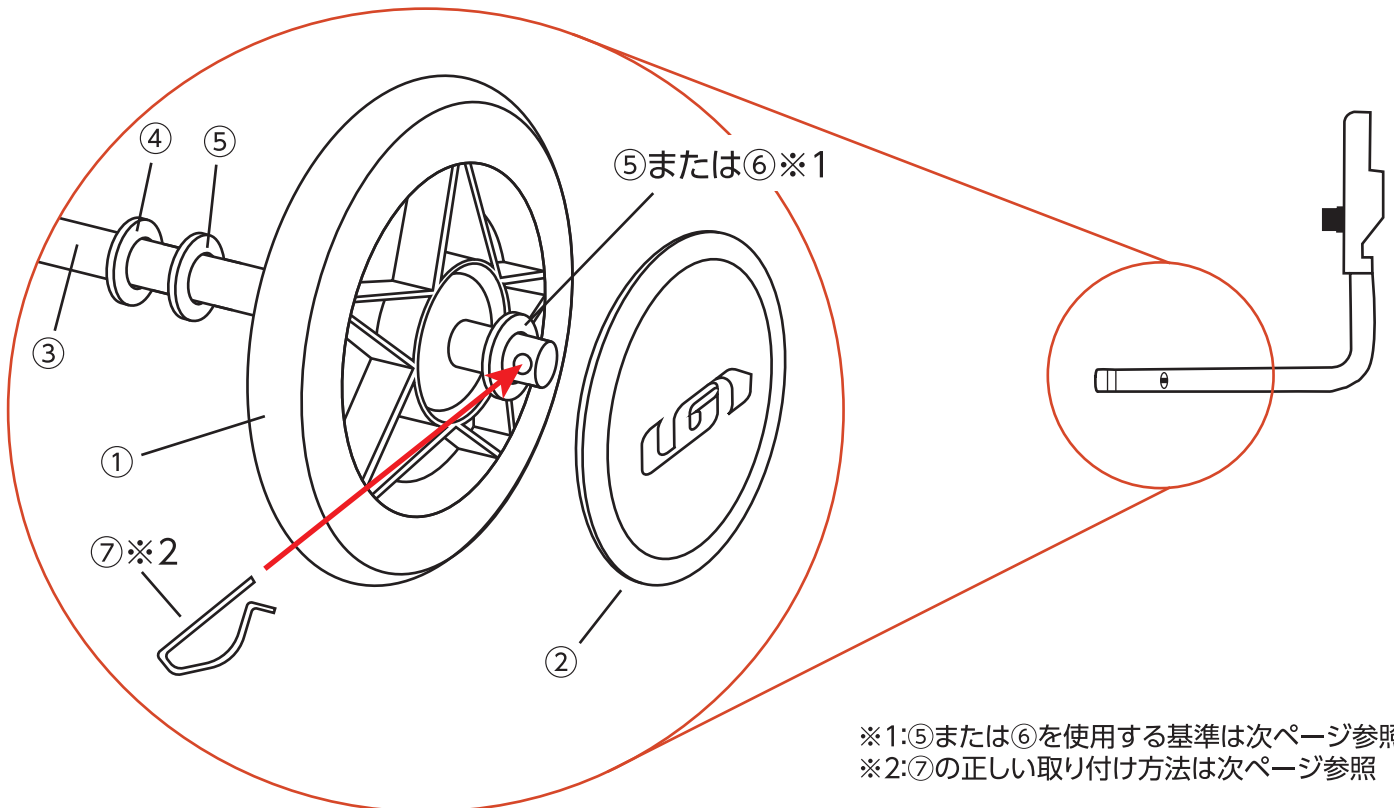


⑦固定ピン
×2個

取付手順1 (補助輪本体の準備)

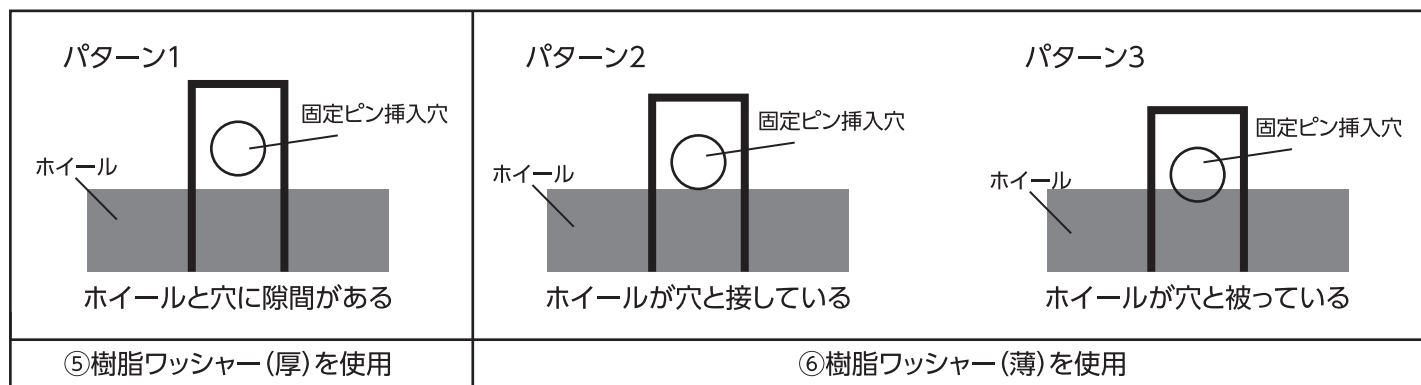
補助輪アームにホイールを固定する。

③の先端に④→⑤→①→⑤(または⑥※1)→⑦※2→②の順で取り付けてください。



※1: ⑤または⑥を使用する基準は次ページ参照
※2: ⑦の正しい取り付け方法は次ページ参照

※1 補助輪アームへ③→④→⑤→①を取り付け後、下図を参考に⑤樹脂ワッシャー(厚)はまたは⑥樹脂ワッシャー(薄)を使用してください。



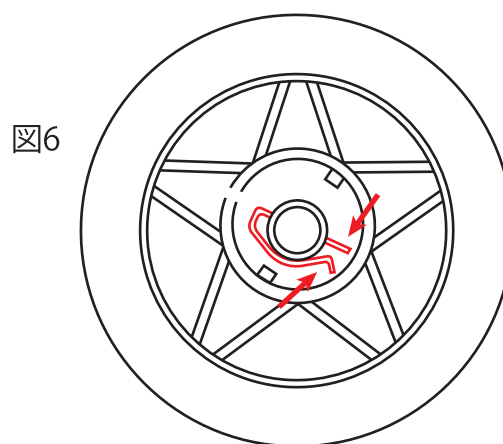
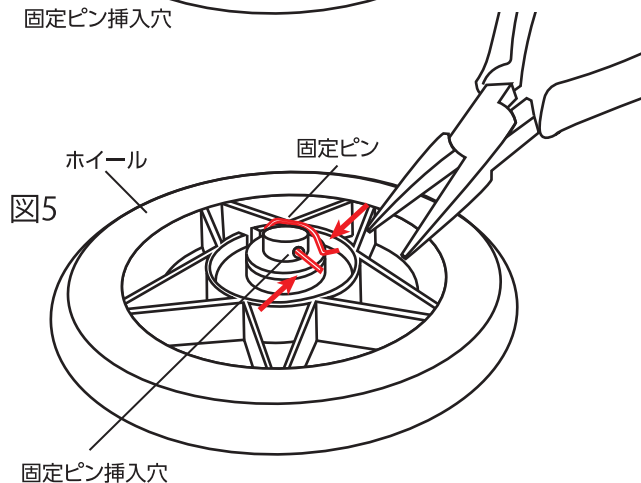
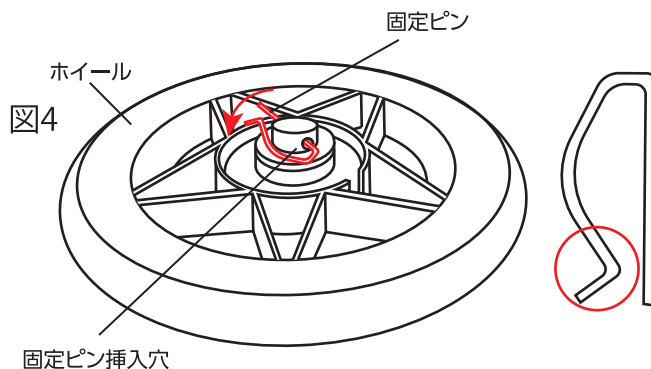
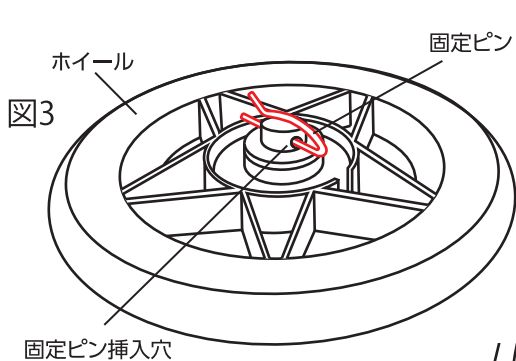
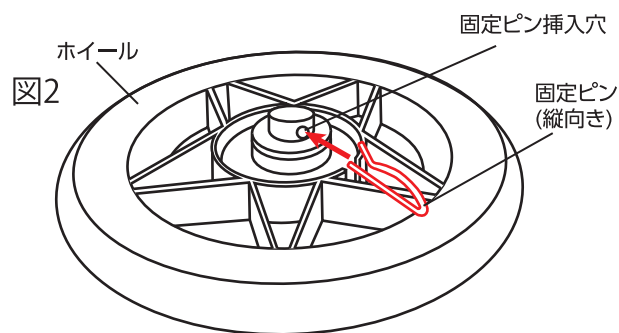
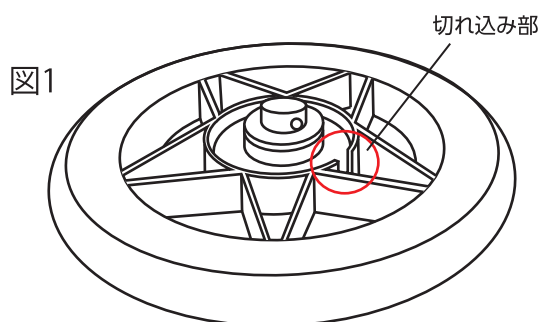
※2 ⑦固定ピンは下図を参考に確実に取り付けてください。

ホイールの切れ込み部(図1)から固定ピンを縦向きに差し込みます。(図2)

固定ピンの挿入が固い場合は、ラジオペンチなどで先端を少し広げながら(図3)の状態まで差し込んでください。

差し込み後、ラジオペンチなどで固定ピンを横向きに倒し、曲線部分(赤丸部)を補助輪アームに挟み込みます。(図4)

挟み込み後、ラジオペンチなどで固定ピン先端を挟み、両側を軽く近づけてください。(図5、図6)

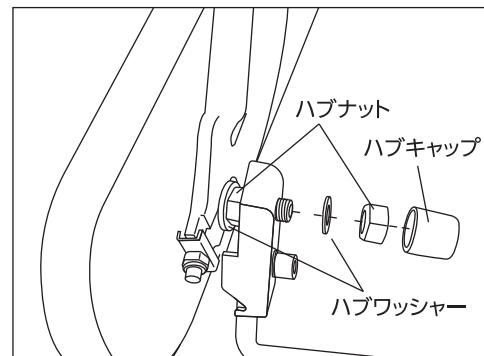


取付手順2(車体への取付)

1. 車体右側(スタンドがない側)への取付

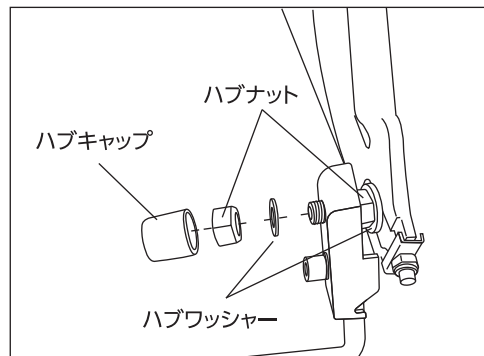
2つ取り付けられている後輪のハブナットのうち、外側のナットを取り外します。
取付手順1で準備した補助輪アームをハブ軸に通し、取り外したハブナットを
使用して規定トルク(30~40N・m)で締め付けてください。

※補助輪アームの取り付けは、必ず車体右側(スタンドがない側)から
行ってください。反対側から作業を行うと、車体が倒れるおそれがあります。



2. 車体左側(スタンドが付いている側)への取付

後輪のハブナット2個およびハブワッシャー2枚を取り外し、スタンドを取り外し
てください。取り外した部品のうち、ハブワッシャー1枚とハブナット1個を元の
取付順序でハブ軸に取り付け、規定トルク(30~40N・m)で締め付けてください。
その後、取付手順1で準備した補助輪アームをハブ軸に通し、
規定トルク(30~40N・m)で締め付けてください。



注意

- 補助輪アームの回り止め部をフレームにしっかりと沿わせてください。(図1)
- タイヤの空気圧を適正にした自転車を垂直に立てた状態で、左右の補助輪と
地面との間にそれぞれ約1cmの隙間があることを確認してください。(図2)
- 隙間が狭すぎる場合、または広すぎる場合は、六角レンチ(6mm)を使用して
補助輪アームを固定しているボルトを取り外し、高さを調整してください。
- 高さ調整後、取り外したボルトで締めつけて確実に固定してください。

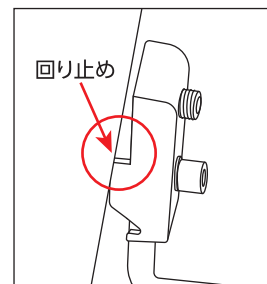


図1

補助輪アームの高さは(図3)のように3段階で調整可能です。
左右の補助輪アーム高さは同じ位置にしてください。

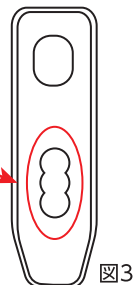


図3

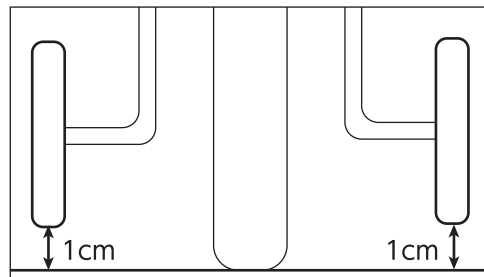


図2

対象商品: 0180836000 K16 lite トレーニングホイール-R
0180837000 K18 lite トレーニングホイール-R

取付可能車種: 0180834000 K16lite-R
0180835000 K18lite-R